

こんな本があります  
神宮前・原宿の本

| 分類  | 資料名                                  | 編著者      | 出版者          | 出版年  |
|-----|--------------------------------------|----------|--------------|------|
| S10 | 神宮前地域実態調査 創立50周年記念出版                 |          | 渋谷区立神宮前小学校   | 1981 |
| S12 | 杜の絆 神宮前地区町会連合会40周年記念                 |          | 神宮前地区町会連合    | 2010 |
| S13 | なつかしい稷田の思い出                          | 佐藤 昇     | 渋谷郷土研究会      | 1969 |
| S13 | 原宿 1983                              |          | 原宿ジャンゼリゼ会    | 1983 |
| S13 | 原宿 1993                              |          | 原宿ジャンゼリゼ会    | 1994 |
| S13 | 原宿 1995                              |          | 稷田表参道町会      | 1994 |
| S13 | ふるさと渋谷の昔がたり 第2集(渋谷区文化財シリーズ)          | 渋谷区教育委員会 | 渋谷区教育委員会     | 1988 |
| S11 | 原宿表参道 みんなが知らなかった原宿表参道の秘密がいっぱい(エイムック) |          | 樫出版社         | 2004 |
| S14 | 渋谷区史跡散歩地図 第2集(渋谷区文化財シリーズ)            |          | 渋谷区教育委員会     | 1988 |
| S14 | 渋谷区文化財マップ 平成21年9月                    |          | 渋谷区教育委員会     | 2009 |
| S13 | 東郷神社誌                                | 東郷神社     | 東郷神社         | 1984 |
| S50 | 町会報 おんでん No. 1-141                   |          | 稷田町会         | 2009 |
| S50 | 創立50周年記念誌                            | 原宿三丁目町会  | 原宿三丁目町会      | 2004 |
| S34 | 原宿わんぱく物語                             | 雨宮 央樹    | 鳥影社          | 2000 |
| S34 | 原宿の思い出                               | 家城 定子    | 講談社          | 2002 |
| S34 | 原宿エクスプレス                             | 刈米 義雄    | 河出書房新社       | 1994 |
| S34 | 表参道のヤッコさん                            | 高橋 靖子    | アスペクト        | 2006 |
| S34 | 表参道十年                                | 小泉 タエ    | 講談社          | 1986 |
| S34 | 小泉今日子原宿百景                            | 小泉 今日子   | スイッチ・パブリッシング | 2010 |
| S34 | 原宿セントラルアパート物語(幻冬舎文庫)                 | 浅井 慎平    | 幻冬舎          | 2002 |

しぶや、あの日 あんなこと そして こんな本

— 渋谷区地域資料通信 1 —

2018年4月19日

編集/発行 渋谷区立中央図書館 (株)図書館流通センター

渋谷区神宮前 1-4-1 3403-2591

図書館ホームページ>しぶやのページ

[https://www.lib.city.shibuya.tokyo.jp/?page\\_id=209](https://www.lib.city.shibuya.tokyo.jp/?page_id=209)

しぶや、あの日 あんなこと そして こんな本

渋谷区地域資料通信 1

原宿といえば、今や全国いや世界に知られた街になりましたが、残念ながら地名としての「原宿」はもはや存在していません。原宿の名は戦国大名北条氏の文書※1に登場する古くからある地名で、明治22年(1889)に千駄ヶ谷村に統合されるまで原宿村として存在しました。その後は千駄ヶ谷村の大字原宿であり、昭和7年(1932)の渋谷区成立時に原宿は一丁目から三丁目まである町名として引き継がれました。そして、昭和40年の住居表示実施にともない、稷田地域とともにその名を神宮前とし地名としては姿を消しました。

どこまで行っても神宮前

神宮前は一丁目から六丁目まであって、ほかに区内で六丁目まである町名は本町と千駄ヶ谷のみです。本町と千駄ヶ谷は古くから地名としてありましたが、「神宮前」の名称は大正9年(1920)に明治神宮が鎮座して以降から使用されるようになり、町名に採用される以前は小学校の名称としてや地下鉄銀座線に神宮前駅※2がありました。神宮前地域は明治神宮・代々木公園を擁する代々木神園町に次ぐ広さがあり、表参道がそのシンボルとして中央を貫いています。そんな広い「どこまで行っても神宮前」を原宿駅から散策してみませんか。

原宿駅は現在平成の大改装中ですが、実は原宿駅が明治39年に開設された場所は今より北寄りの代々幡村内で、その後移転した現在の場所も稷田村というわけで、原宿村内に存したことはなかったのです。



※1 『小田原衆所領役帳』

※2 「表参道」に変更され、後に現在地に移転

